
エンドレスリピート

茶和

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エンドレスリピート

【Nコード】

N4037T

【作者名】

茶和

【あらすじ】

小さい頃、祖母とふたりですごした昼間の時間。

暗い和室と、射し込む日差し of 明るさ。静かで内省的な日々…

(前書き)

原風景はおそらく、こんな形で広がり出した。自分を知りたくて、
こころのそこかしこをほじくっている。昭和30年代、写真を見れば
まだ戦後の臭いがする。

「家に女はふたりはいらない。」祖母は母にこう言った。私が物心ついた時には、母は働きに出ていて家にはおらず、日中はいつも祖母とふたりで過ごした。たまに縁側越しに「ボロ屋」が来て古着を目方で買っていた。春先には花売りが来た。祖母はサイゼリアやデージーを買った。私はなぜかアザリヤが気に入って、一度だけねだって買ってもらったことがある。

祖母は日だまりに座っていた。和服を縫っていたこともあったし、布団を打ち直していることもあった。私は、斜めに射し込む光の帯を身に受けた祖母を見ながら、八畳の和室の隅で独り遊びをした。気に入っていたのは、表にひらがな、裏にその文字で始まる物の絵が描いてある、正方形の木のブロックだった。ブロックの中から花の絵だけを選び出し、並べてお花畑や花壇を思い浮かべた。野菜の絵だけを選び出し、畑を作った。動物の絵だけを選び出し、草原やジャングルを想像した。積み重ねるとピラミッドやタワーや家が出て来た。

夏の暑い日には、近所の店でアイスクャンディを買ってくれた。祖母はあずき味で私はミルク味だった。食べている途中で来客があり、咄嗟に祖母は食べかけのアイスクャンディをそのままテーブルの上に置いて立って行ってしまった。直方体の固まりが徐々に丸みを帯びて、やがて真ん中の棒があらわになってゆく。トロトロとけてゆくアイスクャンディを私はじっと見ていた。

近所と同じくらいの年頃の子どももいたのだが、その子らと遊ぶのはあまり喜ばれなかった。もっとも私は、そのような遊びには没頭できず、遊ぶ自分を少し離れた所から別の自分が見ているような冷え冷えとした感覚をもてあましてしまうのだった。父が祖父が庭にブランコを作ってくれた。時々はひとりでそれに乗ったりした。

お昼になると祖母は簡単な食事を作ってくれ、私は祖母とふたり

で食べたのだろうが、ほとんど覚えていない。

深い水の底から 上を見たことがある
滅び失せることが

いつでも悲しいことではないと

濁流にもまれながら

わずかな明るさを感じ

うずまきながら沈む時

ふと

ほほえんでしまうのだ

そのように

厚く厚く重なった音の隙間から

思いついたように息をつぐ

ベースを拾い

リードギターにすがり

ドラムスに巻きつかれ

もまれ 沈んでゆく

(後書き)

どうなんでしょう。大人ばかりの中で、想像力を頼りに内省的に育ちました。ここまですべてか生きています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4037t/>

エンドレスレポート

2011年10月9日02時22分発行